

# I 事業計画

## 1 検診・健診事業

各種がん検診及び生活習慣病予防健診等を実施します。また、検診の結果、精密検査が必要な方を対象に精密検査の実施とリスクのある者に対してはがん予防のための診療(ピロリ菌除菌)を行います。

実施計画数は次表のとおり。

### (1) がん検診

検診・検査種目		令和3年度	令和2年度	
		実施計画数 (人・件)	計画数 (人・件)	実績 (3.1.31現在)
① 胃がん検診		88,030	88,176	77,920
② 子宮頸がん 検診	検診車	23,660	27,296	17,412
	日母方式	11,430	12,095	9,802
③ 肺がん検診	撮影	24,000	24,926	22,507
	読影	13,200	13,734	12,267
	喀痰	1,211	1,266	1,243
	結核読影	21,240	21,592	19,625
④ 乳がん検診	エックス線検査	29,000	33,272	28,508
	超音波	3,020	3,440	2,723
⑤ 大腸がん検診		91,200	96,129	91,917
⑥ 肝臓・胆のう・膵臓・腎臓超音波検診		14,000	14,185	11,750
⑦ 臨床検査		5,075	9,310	4,983
⑧ その他検診		2,640	2,720	972
計		327,706	348,141	301,629

(2) 生活習慣病予防健診

検(健)診・検査種目	令和3年度	令和2年度	
	実施計画数 (人・件)	計画数 (人・件)	実績 (3.1.31現在)
① 生活習慣病予防健診(協会けんぽ)	23,135	17,130	15,639
② 生活習慣病予防健診(協会けんぽ外)	8,040	5,575	5,522
③ 特定健診	1,260	920	517
④ 定期健診	7,170	5,250	4,626
⑤ オプション検査(CT・PSA検査等)	15,390	12,290	10,757
⑥ 住民がん検診(乳・子)	930	600	599
⑦ その他検診(住民:肝炎等)	460	60	535
⑧ 診療所	108	-	-
計	56,493	41,825	38,195

(3) 事業推進活動

- ① 実施主体と連携し、新型コロナウイルスによる感染予防対策を講じた適切な受診環境を整え実施する。
- ② 市町村ごとに、検診前打合せなど情報共有を密にし、円滑な検診の実施と次年度に向けての改善に取り組む。
- ③ 検診受診者数の減少に歯止めをかけ受診率の向上を図るため、市町村と連携し、郵便ハガキによる受診勧奨(コール)に取り組む。
- ④ 胃がん検診対象年齢前の若年者を対象に、市町村及び地元医師会と連携し、ピロリ菌検診の実施を推進する。
- ⑤ 肺がんエックス線検診受診者でハイリスク等の基準を満たした方を対象に、市町村・地元医師会及び県立病院と連携し、肺がんCT検診の実施を推進する。
- ⑥ 協会けんぽ加入者を対象とする生活習慣病予防健診の未受診事業所への受診推進活動を行う。また、オプション等健診の内容を充実させ、民間健保組合等へのPRに努める。

(4) 検診(健診)情報処理・管理

各種がん検診及び生活習慣病予防健診等のデータ処理を行う。また、受検票の打出しやデータバンクの還元、協会けんぽ等への請求・報告等のデータ受け渡しなど、多様化するデータ管理の適正処理を図るため、システムの改善や新しい技術を導入を行う。

## 2 普及啓発事業

### (1) 広報活動

項目	内容
①がん征圧月間	9月の「がん征圧月間」に、がんに関する記事等を新聞掲載する。各報道機関に「がん征圧月間」を取り上げるよう依頼する。
②協賛等	県や企業団体の、がん予防及び生活習慣病の広報やイベントに協賛する。
③メディア広報	がんや生活習慣病の予防と、検診（健診）の必要性を広く知ってもらうため、テレビや新聞を利用して、知識の普及啓発を図るとともに、当協会のPRに努める。
④「いのち輝け」	当協会の事業を紹介する広報誌を年2回（8・2月：各1,500部）発行し、市町村、事業所、会員等に配布する。
⑤インターネットの活用	ホームページ及びネット上に情報を発信する。

### (2) 印刷物、教材の購入・配布及び貸し出し

イベントの参加者及び法人会員に印刷物を無料配布するほか、模型等を貸し出し、広く県民にがん及び生活習慣病に関する意識の普及を図る。

### (3) 講師派遣

講演会やイベントに職員を派遣し、講演や模型展示、リーフレット配布等を行う。また、健康教育を学校に出向いて行う出前授業を実施し、若年層への知識の普及を行う。

### (4) 「検診担当管理職会議」の開催

実施主体の検診担当管理職を対象に、事業方針の説明やがん検診等の最新情報についての研修を行う。

### (5) 「がん検診担当者会議」の開催

実施主体のがん検診担当者を対象に、検診事業に関する連絡及びがんに関する情報を提供するとともに、行政説明や専門講師による研修を行う。

### (6) 「保健師・看護師がん検診情報研修会」の開催

実施主体の保健師・看護師を対象に、がん検診の情報を伝えるとともに、事業に関する情報交換を図る。

### (7) 会員

がん征圧及び予防知識の普及啓発活動等、協会の趣旨に賛同される会員を募集をする。

法人会員 会費（年・1口） 10,000 円  
個人会員 会費（年・1口） 1,000 円

	2年度会員数	元年度会員数
法人	210件	213件
個人	626件	633件

令和3年1月31日現在

(8) 寄付

香典返しに代えての寄付、快気祝い・還暦祝いなどの個人のお祝いや、企業の社会貢献のための寄付や有志による寄付等を受付ける。

### 3 保健支援事業

(1) 特定保健指導

特定保健指導の実施率向上を目標とした第3期特定健康診査等実施計画に基づき、「動機付け支援」や「積極的支援」などの保健指導を実施する。

(2) 各種がん検診の予後調査

がん検診発見がん者の予後情報提供を、岩手県医師会成人病登録室に申請し、5年生存率及び10年生存率を把握する。

(3) 乳がん自己触診法教室・検診事後支援

検診時及び講座や各種イベントなどに職員を派遣し、実施方法の指導を行う。

(4) がん予防電話相談事業

がん予防の知識普及のため「がん予防電話相談」を実施する。協会ホームページ等でPRするとともに、日本対がん協会の「がん相談ホットライン」のPRも行う。

(5) 精密検査受診勧奨

精密検査が必要と認められた受診者に、精密検査の実施未報告者等の調査を行い、精密検査の受診率向上に努める。

(6) その他保健支援

多様化する保健支援に対応し、地域・事業所等の健康管理を支援する。

### 4 調査研究事業

(1) 事業報告・事業年報発行

検診（健診）及び精密検査受診状況等を集計し、市町村や医療機関へ配布する。

(2) 論文・研究・学会発表

がん及び生活習慣病についての論文等を各種学会に発表し、医療・検診（健診）の質の向上に役立てる。

(3) 調査研究協力・研究班調査参加・資料調査協力

① 日本対がん協会に、当協会のがん発見率等のデータを提供し、全国データの統計作成に協力する。

② 関連学会（消化器がん検診学会・乳がん検診学会・人間ドック学会等）にデータを提供し、公衆衛生の向上に寄与する。

③ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（革新的がん医療実用化研究事業）「乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究（J-START）」の、乳がん検診データ収集業務に協力し、当協会の乳がん検診データを提供する。

(4) 技術研修会の主催

医療従事者を対象に、検診部位毎に症例検討会や勉強会を開催し、検診・診断技術の向上を図る。

## 5 医療技術職の育成・援助

医療技術職（診療放射線技師・臨床検査技師・看護師）の養成施設に在学する者に、修学資金を貸与することにより、がん検診等に係る医療技術者の確保及び資質の向上を図る。

## Ⅱ 事業運営機器の整備

		備 考
検 診 車	胃がん検診車	検診車等整備計画（6月理事会予定）を策定し、必要と認められた場合整備する
乗 用 車	ノア	
医 療 機 器	メディカルレコーダー マンモビューアー 胃ビューアー 肺ビューアー 便潜血検査機器 胃エックス線装置PC 救急カート	
什 器 備 品	監視カメラシステム	
無形固定資産	NVバージョンアップ 予約登録画面改修 予約カレンダー改修	
合 計	84,159千円	